



平成27年4月28日

各位

上場会社名 株式会社 カワタ  
 代表者 代表取締役社長 白井 英徳  
 (コード番号 6292)  
 問合せ先責任者 取締役管理部門統括 白石 互  
 (TEL 06-6531-8211)

## 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年10月24日に公表した業績予想および平成26年5月14日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,800	660	560	345	48.71
今回修正予想(B)	17,242	755	714	427	60.28
増減額(B-A)	1,442	95	154	82	
増減率(%)	9.1	14.4	27.5	23.8	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	15,708	581	526	324	45.84

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,100	50	55	30	4.24
今回修正予想(B)	7,557	54	160	91	12.85
増減額(B-A)	457	4	105	61	
増減率(%)	6.4	8.0	190.9	203.3	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	7,281	△72	4	72	10.29

修正の理由

個別業績につきましては、年度後半に日本経済が緩やかな回復傾向となり、国内設備投資意欲の改善による期末納入案件増加等により、売上高は前回予想を457百万円上回る7,557百万円の見込みとなりました。損益面におきましては、販売費および一般管理費が増加しましたが、売上高の増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前回予想を4百万円上回る54百万円の見込みとなりました。また、関係会社からの受取配当金増加等により営業外収支が改善した一方で、特別損益は前回予想より悪化したことにより、経常利益は前回予想を105百万円上回る160百万円、当期純利益は前回予想を61百万円上回る91百万円の見込みとなりました。

連結業績におきましては、中国、台湾をはじめとする東アジアの需要が堅調に推移し、日本においても景気回復に伴う改善が見られたこと等により、売上高は前回予想を1,442百万円上回る17,242百万円の見込みとなりました。損益面におきましては、販売費および一般管理費の増加はあるものの、売上高の増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前回予想を95百万円上回る755百万円となり、更に為替差益の増加による営業外収支の改善等により、経常利益は前回予想を154百万円上回る714百万円、当期純利益は前回予想を82百万円上回る427百万円の見込みとなりました。

### ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成26年5月14日発表)	—	—	—	7.50	7.50
今回修正予想	—	—	—	9.00	9.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成26年3月期)	—	0.00	—	7.50	7.50

#### 修正の理由

当社は、安定的な配当維持と業績向上に伴った株主の皆様への配当(利益還元)を充実させることを経営の重要政策のひとつとして位置付けるとともに、中長期的には安定した事業成長を図り株主価値を持続的に向上させるため、事業の進展状況等を勘案し新規事業開発や戦略投資等に内部留保資金を投下していくことを基本方針としております。

当期は通期業績予想が前回予想を上回ったことに加えて、中長期的な配当性向や自己資本利益率(ROE)の向上と、今後の事業リスクや戦略投資に備えての内部留保の充実等を総合的に勘案し、当期の1株当たり期末配当予想を7円50銭から9円に修正いたします。

以上